

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

兵庫県作業療法士会では、認知症対策委員会の企画で、昨年度に引き続き会員向けに「兵庫県認知症臨床作業療法研修会」を実施した。また「認知症の人と家族の会」のご協力を得ながら昨年度に実施した「オレンジ運動会」をさらに発展させる形で育成研修会+家族会との交流イベントを「認知症の人と家族の会」と共催で開催した。さらに、広報啓発部が企画した市民公開講座では、認知症をテーマにしたドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」の上映会の後に映画のテーマに沿った認知症に関する講演会を行った。

### 「育成研修会+家族会との交流」開催（2019/5/18）

「認知症の人と家族の会に作業療法はどう寄り添えるのか」をテーマに、認知症の方に作業療法士がどのような考え方で、どのような関りを行っているのかを紹介した。またHOTカフェでは、バスボムづくり、棒体操などのワークショップを行い、ご本人、ご家族と一緒に活動することを通して健康的な生活を送る体験をしていただいた。さらに、掲示・相談コーナーと啓発コーナーを設け、認知症臨床作業療法育成研修修了者によるGood Practice事例報告、二本の傘などの紹介と相談コーナーを開催した。

参加者：計83名

兵庫県作業療法士会のスタッフ15名、認知症の人と家族の会 35名  
神戸市社会福祉協議会 若年認知症の会「おひさま」メンバー 33人



### 「兵庫県認知症臨床作業療法士」育成研修会の実施

（ステップⅠ：2019/7/20 ステップⅡ：2019/9/28・29 ステップⅢ：2020/1/26）

地域で活躍できる作業療法士の育成を目指し、ステップアップ形式の研修を実施した。ステップⅢを受講した受講生は、ステップⅡ終了後に何らかの形で地域での活動に参加した経験や内容を報告するという演習を実施した。

ステップⅠ 「認知症を理解する」（日本作業療法士協会推奨アップデート研修会の内容を含む）

\*参加者：76人

ステップⅡ 「認知症の臨床を深める」G P 事例報告 \*参加者：29人

ステップⅢ 「認知症を社会全体で支える」地域での実践報告 \*参加者：25人

### 市民公開講座（2020/1/19）

認知症に関連する映画を通じて、認知症に興味・関心をもっといただただけでなく、認知症があっても住みやすい地域社会の構築について一人一人が考えるきっかけとすることを目的に、映画上映会を行った。老いや認知症の進行の過程をありのまま描いたドキュメンタリー映画を通じて、地域住民や専門職が、それぞれの立場で認知症の現実を知ることができ、認知症があっても住みやすい地域のために何ができるか、我がこととしてとらえることができるイベントとなった。 参加人数：142名（一般参加者126名）



### 今後の展開

- ・ 兵庫県認知症臨床作業療法士育成研修会 ステップⅠ～ステップⅢ 各1回実施
- ・ 認知症の人と家族の会とのコラボ企画「認知症の人とその家族に作業療法士はどうより添えるか」の継続したイベントを企画

※ コロナウィルス拡大の影響で中断しており、開催方法を含め再開を検討中